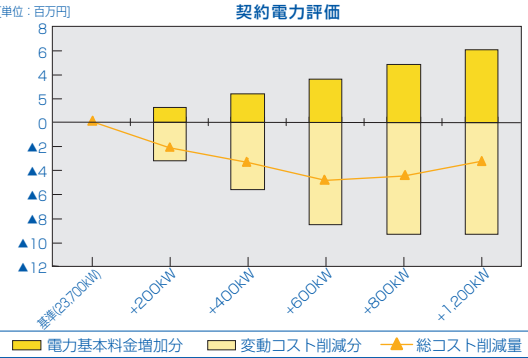


その他の活用

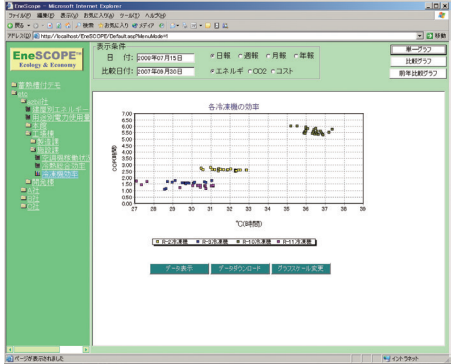
≫ オフラインツールとしての活用

- ・設備増設・廃棄の経済効果検討
- ・電力、ガス契約評価

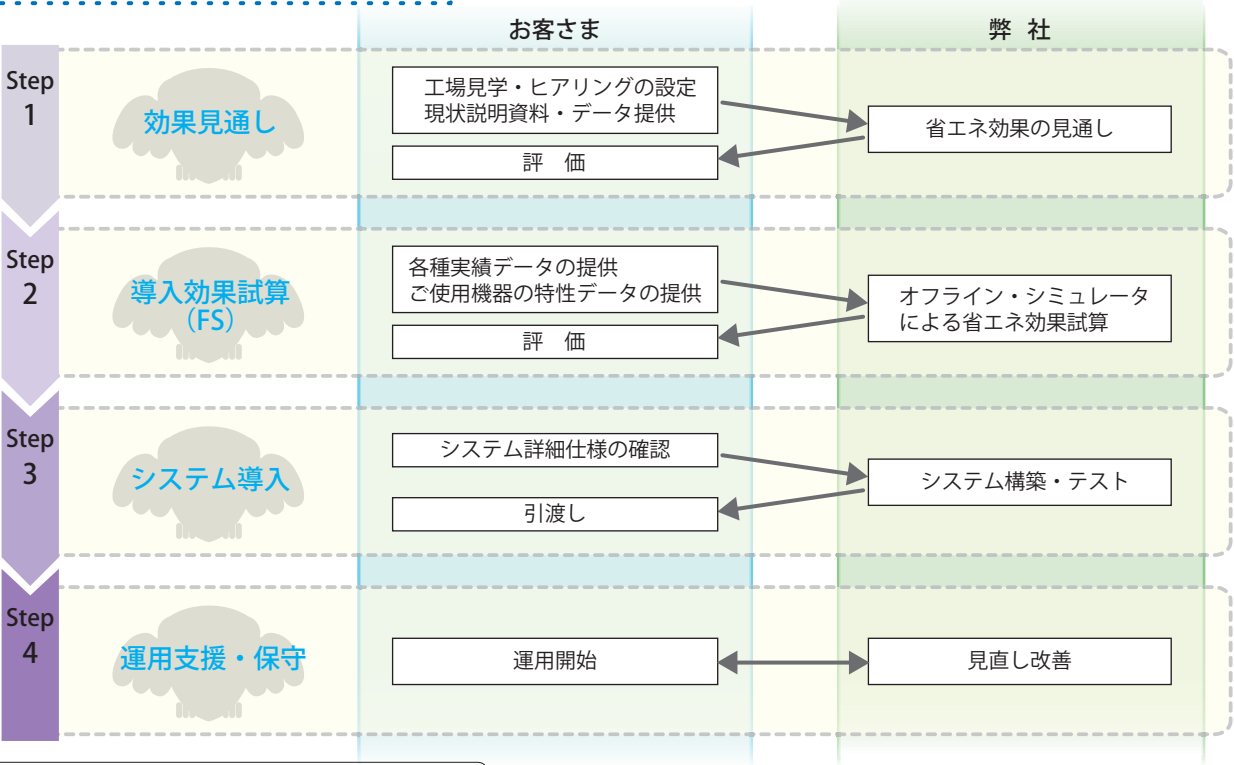


≫ エネスコープ EneSCOPE™ との組み合わせ

- ・モデル機器特性の更新、機器の予知保全
- ・エネルギー管理



U-OPT 導入手順



ご注文・ご使用に際しては、見積・契約基本条件（下記URL）を必ずお読みください。
<http://www.azbil.com/jp/product/factory/estimate.html>
あわせて「ご注文・ご使用に際してのご承諾事項」（下記URL）をお読みください。
<http://www.azbil.com/jp/product/factory/order.html>

- U-OPT、ENEOPT、EneSCOPE は、アズビル株式会社の登録商標です。
- その他本文中に記載している製品名、機種名、社名は各社の商標または登録商標です。

【ご注意】 この資料の記載内容は、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。
本資料からの無断転記、複製はご遠慮ください。

アズビル株式会社
アドバンスオートメーションカンパニー

※2012年4月1日、株式会社 山武 は アズビル株式会社 へ社名を変更いたしました。

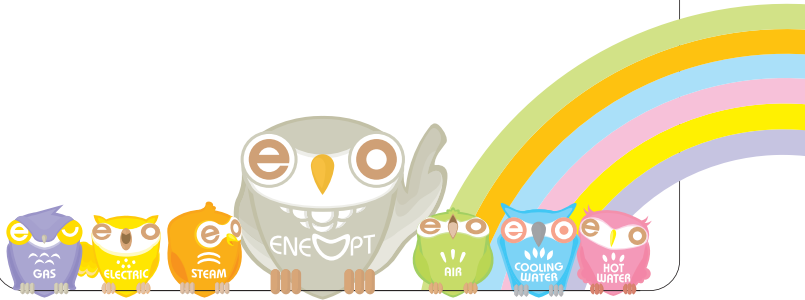
本社 〒100-6419 東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビル

北海道支店 ☎(011)211-1136 中部支店 ☎(052)324-9772
東北支店 ☎(022)290-1400 関西支店 ☎(06)6881-3331
北関東支店 ☎(048)621-5070 中国支店 ☎(082)554-0750
東京支店 ☎(03)6432-5142 九州支店 ☎(093)285-3530

〈アズビル株式会社〉 <http://www.azbil.com/jp/>

初版発行：2008年3月
印刷：2012年6月(第4版)-AZ

ご用命は下記または弊社事業所までお願いします。



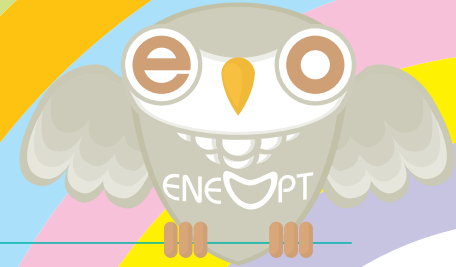
azbil

ENE PT™ utility

熱源設備／動力プラント 全体最適化パッケージ

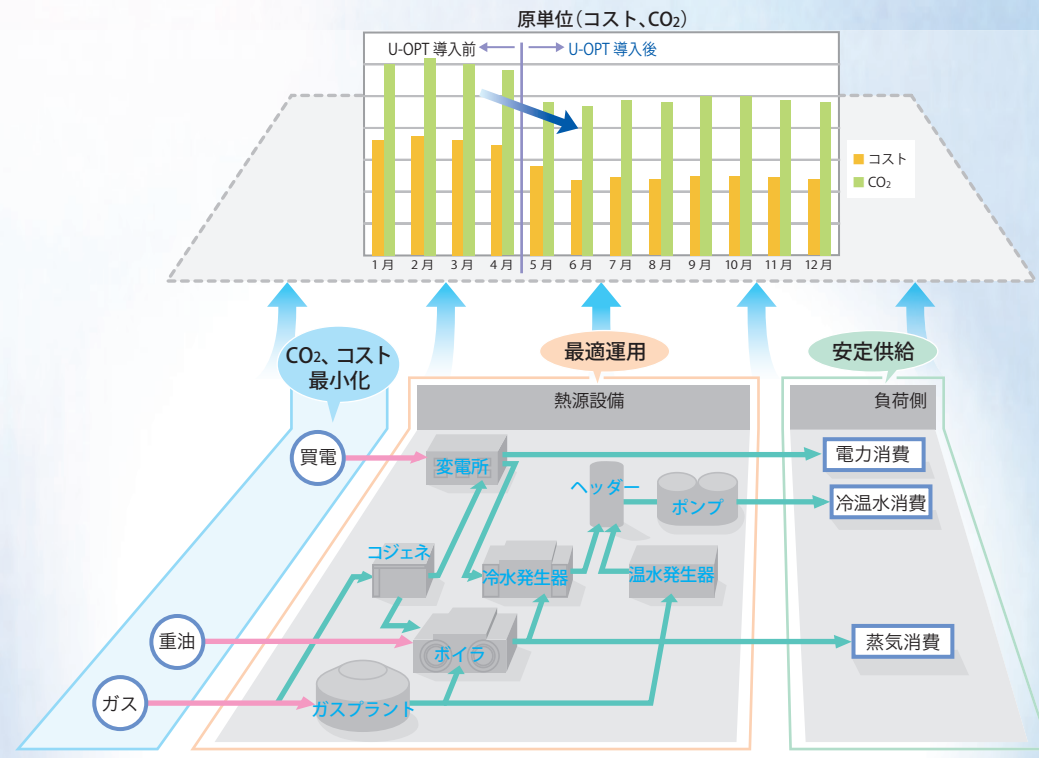
U-OPT™
(Utility Optimization)

熱源設備／動力プラントの効率的運転の実現により、
省CO₂、省コスト、省人化に貢献します。



U-OPTとは

ユーオプト
U-OPT は、ユーティリティ設備や熱源設備の機器連携を図り、運用を最適化することにより、設備全体の効率を向上させ、エネルギーコストやCO₂ 排出量を低減するシステムです。高価な新たな設備の導入を必要とせず、制御・最適化技術による投資効果の高い技術です。各企業へのCO₂ 排出量削減要求が高まる中、CO₂ 削減投資効率が非常に高いU-OPT により、お客さまの課題解決を支援します。



適用対象

下記工場のユーティリティ設備

- 自動車・半導体工場といった組立加工産業
- 食品工場
- 製油所・石油化学工場などのプロセス産業
- 地域冷暖房設備
- 製紙工場
- 大型ビル

など幅広く適用可能

≫ U-OPT により大きな効果が期待される設備

- 朝、昼、晩、休日での需要負荷の変動が大きい。
- ボイラ、タービン、冷凍機等のユーティリティ機器の種類や数が多く、運転の自由度が高い。
- 効率の悪い部分負荷で運転されている機器が多い。
- 昼夜電力料金差が大きく、蓄熱槽があり、夜間蓄熱運用などによるエネルギーコスト削減が可能。
- エネルギー使用量が多い。

自動車工場への適用例

空調負荷の高い自動車工場に適用。気象データを取り込み需要予測を行い、それを満足するようにボイラやコジェネ、冷凍機、蓄熱槽の最適運用を計算します。冷凍機はオンライン制御、ボイラは運転員を介したガイダンスシステムとして、エネルギーコスト・CO₂ 排出量削減に寄与しています。この例では、約 1%の予測精度と、約 5%のコスト・CO₂ 排出量削減を実現しました。

U-OPTは、複雑な機器構成の設備に対して、予測・最適化・制御技術を適用しています。

- 現状の機器効率・設備状況の把握
- 設備全体のトータルコスト、CO₂ 排出量を考慮した、設備選択、負荷配分
- 昼夜電力料金差を考慮した需要予測による蓄熱最適運用

今までの実績では、**2～5%のエネルギーコスト、CO₂ 排出量の削減**を達成

